

アカイカ 北太平洋

Neon Flying Squid, *Ommastrephes bartramii*



管理・関係機関

北太平洋の海洋科学に関する機関 (PICES)

最近一年間の動き

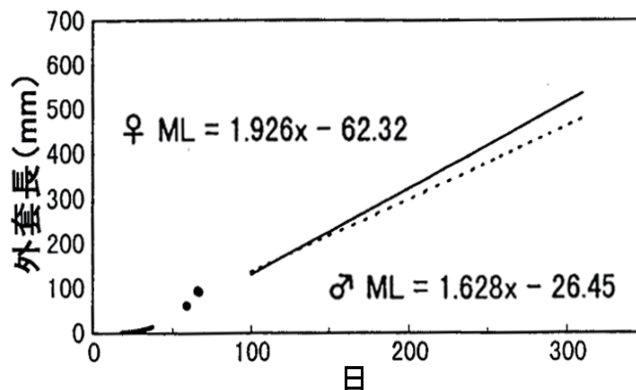
2007 年は、沖合に分布する秋生まれ群を対象にした漁獲が前年に引き続き比較的好漁であった。日本近海の冬春生れ群については、前漁期は不漁であったが、2007 年の漁期前調査によると、今漁期(2006/07 年) は好漁が期待される。

生物学的特性

- 寿命：1 歳
- 成熟開始年齢：約 10 ヶ月
- 産卵期・産卵場：秋～春、南西諸島～小笠原諸島、ハワイ諸島
- 索餌期・索餌場：春～冬、亜寒帯境界～移行領域
- 食性：橈脚類、魚類 (ハダカイワシ類中心)、頭足類、甲殻類
- 捕食者：メカジキなど

利用・用途

冷凍ロールイカ、総菜



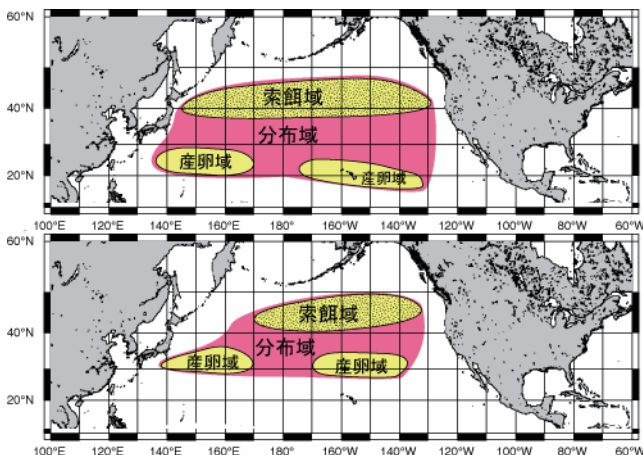
アカイカの成長曲線 (Yatsu 2000)

漁業の特徴

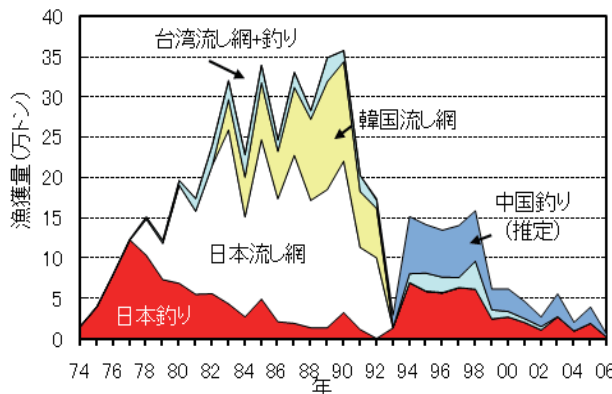
我が国では 170°E 以西を釣り漁場、以東を流し網漁場とする規制を 1979 年から実施している。釣り漁業は縮小したが、流し網漁業は 1980 年代には重要となり、韓国と台湾も参入した。しかし、公海流し網漁業は混獲を主因とする国連決議により 1992 年末をもって停止となった。その後、日本近海で釣り漁業が復活し、170°E 以東にも出漁するようになった。最近では、中国や台湾の漁船も日本近海で操業している。

漁業資源の動向

かつては流し網漁業により、各国の総計で 20～35 万トンが毎年漁獲されていた。1994 年以降は釣り漁業により 10 万トン以上が漁獲され、そのうち約 1～2 万トンが 170°E 以東の旧流し網漁場で漁獲されている。最近では、中国や台湾の釣り漁船が我が国の 200 海里内外で操業しており、中国船の隻数は数百隻と言われ、漁獲量は少なくとも我が国に匹敵すると推定される。

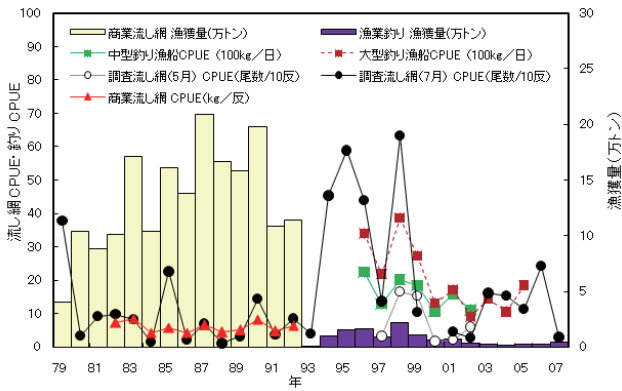


アカイカ春冬生まれ群 (上) と秋生まれ群 (下) の分布図

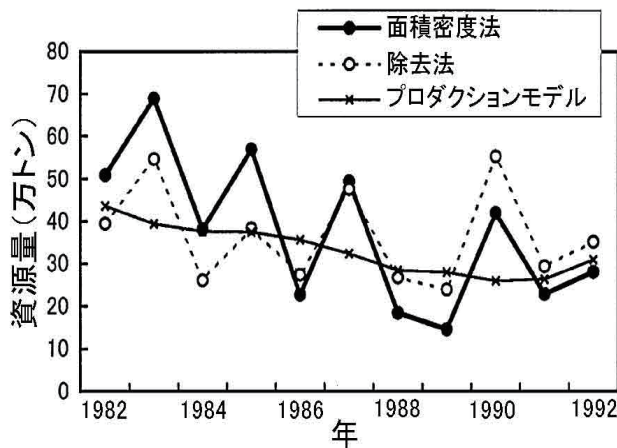


北太平洋アカイカ国別総漁獲量

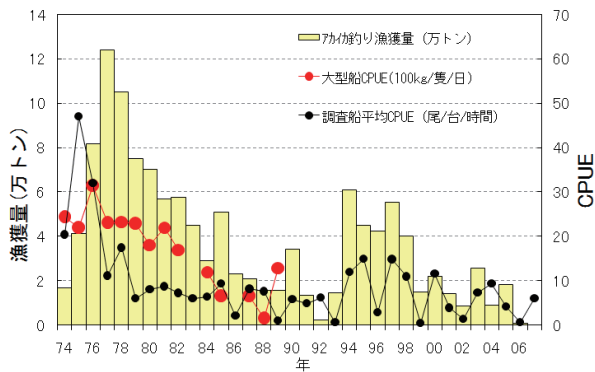
中国の漁獲量は 1994 年以降我が国と同程度と仮定 (過小推定の可能性大), 台湾の漁獲量は 2004 年以降データなし



170° E 以東のアカイカ秋生まれ群の我が国の漁獲量と CPUE



商業流し網時代の秋生まれ群の資源量の推定値



170° E 以西のわが国のアカイカ冬春生まれ群の漁獲量と CPUE

アカイカ 170° E 以東の秋生まれ群の MSY レベル

期間	1979 - 1998
MSY (万トン)	15.9
K (環境収容力; 万トン)	53.4
r (内的自然増加率)	1.19
BMSY	K/2
FMSY	r/2

資源状態

170°E 以東の秋生まれ群については、旧流し網漁場 (170°E ~145°W) の盛漁期 (7月) の資源量を商業流し網と調査流し網データを用いて3つの方法で推定した。流し網時代の資源量は、面積密度法では38万トン、除去法では37万トン、非平衡プロダクションモデルでは33万トンと推定され、いずれの手法でも非常に似た資源量推定値が得られ、信頼性は高いと考えられる。1999~2002年は、レジームシフトにより資源が非常に低水準になったが、その後回復傾向にある。170°E 以西の冬春生まれ群では、1979年の釣り漁業データに基づく除去法から14万トンと推定されたが、継続的な加入と移出を考慮すると過小推定であろう。

管理方策

170°E 以東の秋生まれ群について、プロダクションモデル解析によると商業流し網による漁獲量 (10~20万トン) は MSY レベルであり、また漁獲せずに残した親イカ量の割合は、管理目標値 40% にほぼ相当する。従って、当面の妥当な漁獲量目標は、MSY の約 16 万トンである。170°E 以西の冬春生まれ群については、10万トン以上の漁獲量を上げた 1970 年代後半から 1990 年代初めまで、漁獲量、調査 CPUE とも低下している。従って、10万トン以上の漁獲量は過大である可能性がある。なお、調査 CPUE は 1993 年以降上昇に転じ、1998 年までは高水準を維持していたが、1999 年に再び急降下し、その後は変動が大きい。

資源評価まとめ

- 非平衡プロダクションモデル、面積密度法および除去法により資源評価
- 資源横ばい

資源管理方策まとめ

- 170°E 以東の秋生まれ群の妥当な漁獲量目標は、MSY の約 16 万トン程度である
- 170°E 以西の冬春生まれ群については、10万トン以上の漁獲は過剰である可能性がある

アカイカ (北太平洋) の資源の現況 (要約表)

資源水準	低位
資源動向	横ばい
世界の漁獲量 (最近5年間)	0.6~5.7 万トン 平均 3.1 万トン
我が国の漁獲量 (最近5年間)	0.3~2.8 万トン 平均 1.5 万トン